

# ひまわり

Vol. 125

編集 中村建設(株)  
 四日市市古首1-1-7  
 隔月発行

	<b>1</b> (火) 元日	<b>2</b> (水)	<b>3</b> (木)
<b>7</b> (月) 七草	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b> 110番の日 千白蔵
<b>14</b> このころ成人の日 (第2月齢日)	<b>15</b> 小正月	<b>16</b> 藪入り	<b>17</b>
<b>21</b>	<b>22</b> このころ大寒(二十四節気)	<b>23</b> ふみの日	<b>24</b> 全国学校給食週間 (~30日)
<b>28</b>	<b>29</b> 南極昭和基地設営記念日	<b>30</b>	<b>31</b>



「愛と感謝と光を込めて」  
 ご多幸をお祈り申し上げます

<b>4</b> (金) 官公庁御用始め	<b>5</b> (土)	<b>6</b> このころ小寒 (二十四節気)
<b>11</b> 鏡開き	<b>12</b>	<b>13</b>
<b>18</b>	<b>19</b>	<b>20</b>
<b>25</b>	<b>26</b> 文化財防火デー	<b>27</b>



# 1月

睦月

初空月

早縁月

新しい、真っ白なカレンダー、  
 うれしいメモで、いっぱいになりますように。



# 社長のひとり言

## 家族の幸せ

人は何時の時代も幸せを求めて生活をしています。日本は終戦後、生活様式も変わり、国民の生活も随分と豊かになって来ました。特別、贅沢をしなければ、食べていけない時代ではなくなって来ました。又、お金さえあれば、好きな物が何でも手に入る事が出来ます。一人暮らしも何不自由なく出来る時代です。物質的には豊かになり何でも欲しいものが手に入りますが、人としての繋がり

が昔に比べ希薄になったのも事実です。最近では結婚しない人や、結婚しても直ぐ別れてしまう人、又、ご年輩においては連れ合いを亡くされた方の一人暮らしが増えてあります。私もそう言う人達と係わりを持つ中で、一人暮らしの人からよく聞く話ですが、昼間生活している分には寂しさは余り感じないが、夜遅く自分の寢床に戻ると、電灯が消えている玄関に入る倦むしきは何とも云えないことです。私は結婚した時も今も親との同居を経て子供との同居をして来ましたので、倦むしきを感じた事はありません。先の事は分かり

ませんが、私はお会いする人について同居の薦めをさせて頂いております。同居を嫌らう人は得手して家でも貴と遣うのは嫌だとおっしゃいます。私は何処に居ても人として貴遣うことは大切な事だと思っています。家族同士であつてもお互いに貴遣いし合うことは自分と成長させる為にも良き事だと思っております。又同居の良さは家族が居るだけで安心であり、絆のもてる家庭は最高に幸せです。

いち がつ いち じつ  
一月一日

千家尊福 作詞  
上真行 作曲

♩=96  
mf

4/4 5 5 6 5 | 3· 2 1 1 | 2 2 5· 4 | 3 - - 0 |  
とーし の は じ め の た め し と て

5 - 6 5 | 3· 2 1 1 | 2 2 3· 2 | 1 - - 0 |  
お わ り な き よ の め で た さ を

f

i i i 6 | i i 5 5 | 6 6 5· 4 | 3 - - 0 |  
ま っ た け た ー て て か ど ご と に

mf

5 - 6 5 | i· 6 5 4 | 3 5 4· 2 | 1 - - 0 ||  
い お う き よ う こ そ た の し け れ

う  
つ  
く  
し  
に  
お  
わ  
り  
な  
き  
よ  
の  
め  
で  
た  
さ  
を  
ま  
っ  
た  
け  
た  
ー  
て  
て  
か  
ど  
ご  
と  
に  
い  
お  
う  
き  
よ  
う  
こ  
そ  
た  
の  
し  
け  
れ

クサモジ

1 年の始めの 例として  
終なき世の めでたさを  
松竹たてて 門ごとに  
祝う今日こそ 楽しけれ

2 初日のひかり さしいでて  
四方に輝く 今朝のそら  
君がみかげに 比えつつ  
仰ぎ見るこそ 尊とけれ

明治二十六年『官報第三〇三七号付録』

四大節(※二〇七頁参照)の一つ、  
四方拝の歌です。発表当時、第二節  
の歌詞は、「初日のひかり 明らかく  
治まる御代の 今朝の空」でしたが、  
大正二年に現在のように改められま  
した。

比えつつあわせ、ひき比べながら。



あんしん



う  
つ  
く  
し  
に  
お  
わ  
り  
な  
き  
よ  
の  
め  
で  
た  
さ  
を  
ま  
っ  
た  
け  
た  
ー  
て  
て  
か  
ど  
ご  
と  
に  
い  
お  
う  
き  
よ  
う  
こ  
そ  
た  
の  
し  
け  
れ

ウ エソナモジ

当たり前常識が

失われつつある社会

幸せな未来の描きこいた社会です。

けれども、私たちは、今どうして

この地球に生きているのか

幸せを感謝し、自然環境を守り、

地域社会とのつながりのなかで

子どもを育て、家庭を守り、

明るい未来へとたすきをつないで

いかなければなりません。

幸せな家庭環境をつくる会が、

家庭の幸せつくりを通して、

社会の幸せつくりのために

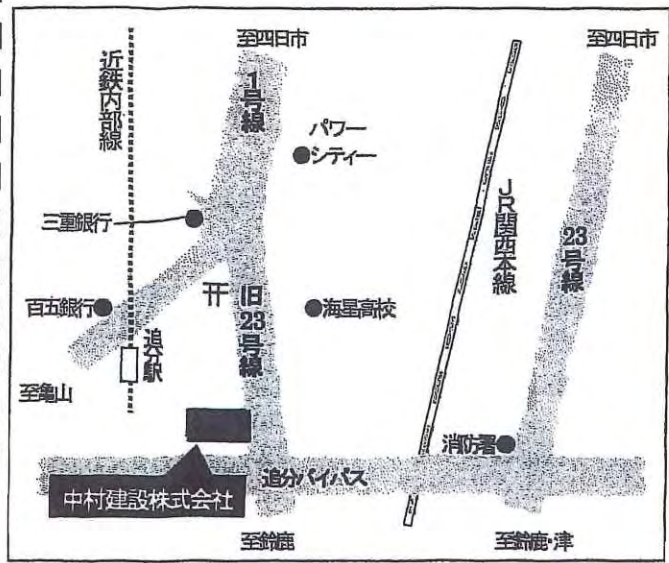
活動を続けています。

# はつ春



## 幸せをもたらす住まいづくりの勉強会 (三重)ホーミー四日市教室

家族と住まいと環境の勉強会  
ホーミー四日市教室  
開催してます



NPO全国組織 内部監査済  
幸せな家庭環境をつくる会 三重支部  
ホームステイグループ (HSG)  
〒610-0968 三重県四日市市小宮南1丁目1番7号  
TEL (059) 345-7726 FAX (059) 345-0745  
E-mail: info@hokomuraconsatsu.co.jp